

## 夏期講習クラス授業 ～英・数・国～



## 英語

更新版: 2022.6.20

## 「英文法」難関大レベル &lt;重要&amp;頻出事項 得点力増強ゼミ&gt;

上位難関大学では「英文法・語法」分野での確実な得点は、合格への必要最低条件である。換言すれば、この分野での失点は致命傷となる。また読解問題中の設問であっても、実は文法・語法の知識を問うていることが少なくない。そこで本講座では、上位難関大学志望者を対象に、今までに蓄積してきた知識(=武器)をどう得点に結びつけていくのか(=戦略)を研究していく。

本講座では扱う問題の分野はあえて限定しない。設問形式は、「適語選択」や「空所補充」は勿論、レギュラー授業ではあまり扱うことの少ない「正誤問題」「整序英作文」なども多く扱っていく。今後も出題が予想され、かつ発展性のある問題を中心に厳選された良問の演習を通して、不動の得点力を養成していく。また、本講座が「発展」レベルであることも鑑みて、やや細かい点等であっても、上位大志望者なら知っておいて欲しいと思われる内容は、あえて扱うこととしたが、むやみに難問奇問の類を扱うものではない。

オリジナル「英文法ハンドブック」を使用して進めていくが、毎年多くの受講生から好評を得ているので、夏以降の学習にもフル活用して頂きたい。

『分かったつもりでは入試には通用しない。』この講義を通して、これまでに諸君が培ってきたはずの知識を再確認しつつ完全に定着させる、すなわち「何となくわかっている」ではなく「確実にわかっている」状態へ、これが狙いである。そして、この知識をもとにどのように頭を使って考え設問にアプローチしていけばよいかを示していく。勿論、欠けている知識があるなら、更なる知識の蓄積を図っていくことは言うまでもない。

本講座では是非、上位大学合格に向けて不動の得点力を築き上げ、点の取りこぼしを防ぐとともに、更なる得点力のアップを目指した夏以降の学習の方向性を見出して頂けることを願っている。9月以降の更なる飛躍のために共に『暑い夏』を送ろう。

入試は、他の受験生ができる問題での失点をしないことが一番大切なことである。だからこの夏は、闇雲にやたら難しい問題に手を出すのではなく、「標準レベルの問題での100%の正答ができる」受験生になることを目指すのが先決である。これが夏以降の飛躍のために諸君に要求されることである。足場が不安定な建物はいつ崩れてもおかしくはない。まずは足場を頑強なものにすること、それをあなごればいくら立派な装飾を施そうとも、いつか崩壊することは自明である。

来春の合格を勝ち取りたいならば、この機会を逃してはならない。私と共に、合格の瞬間まで突き進もうではないか。

※「無敵の語法」と併せて受講されることで、さらなる学習効果を期待できるので、是非セットで受講されることをお勧めします。

## 難関私大英語「読解演習」&lt;早慶上智・関関同立レベル&gt;

早慶上智・関関同立などをはじめとする難関私大志望者を対象に、読解問題の対策を図る。これら上位大学では、英語では得点に余り大差が付かないことも多いが、これは換言すれば「英語が出来ること」は合格の「最低必要条件」ということ。

難関レベルの大学の読解問題における出題形式は、「内容一致問題」「空所補充問題」「パラフレーズ問題(下線部置換)」「下線部和訳」などを中心としてバラエティーに富んでいる。解答にあたっては構文・語彙(単語・熟語)などの多岐に渡る知識が要求されるのは勿論のこと、確実な読解力と文脈把握力、そして深い「思考力」が要求される。これらのことから、英語という言語の本質の理解、さらには国語力なくしては太刀打ちできないと言えるだろう。

講義では、そういった難関大レベルの良問の演習を通して、解答へのアプローチ法を諸君に示していく。単に自分の導き出した答えが合っているかだけでなく、解答までの道筋(=思考のプロセス)が適切であったかどうかをしっかりと確認してもらいたい。

是非この講座で夏の時点での自らの実力を把握し、志望校合格に向けた夏以降の学習の方向性を見出して欲しい。

## 水沼の無敵の「語法」&lt;語法問題の対策&amp;語彙力増強ゼミ&gt;

毎年多くの受験生を苦しめている「語法問題」。特に有名私大レベルなどそれなりの準備をしてきた受験生が挑む大学では、いわゆる「文法問題」では余り差が付きにくいいため、語法問題の出題比率が高くなっている。(→だから、文法問題は出来て当たり前!ということ。そこでの失点は大きなマイナスになるわけだから、しっかり対策をして確実な得点源にしてね。)

確かに読解問題の設問に比べれば、1問当たりの配点は決して高くない場合が多いのは事実だろうが、あと1点、2点の差で不合格の涙を流す受験生が日本中にひしめていることや、この分野はやったことがすぐ結果として表れ即得点に直結することを考えれば、是非とも得点源にしたいところである。

だが、いざ自分で勉強しようと思っても、語法問題を多く扱った問題集も少なく、何をどこまでやればいいのかははっきりしないため、どうしても対策が後回しになってしまう受験生が少なくないため、意外と得点差が付きやすい。また、普段よく見かける単語ほど入試で狙われやすい重要な語法が多く、その単語の『使いこなし方』(=語法)を正確に把握せずに、ただ単に意味を知っているだけでは使い物にならない。また、日本語に訳すと同じような意味になる単語の使い分けも重要となる。

そこで本講義では、パラフレーズ問題(下線部置換問題)や空所補充問題や正誤問題など様々な設問形式の演習を行い、語義問題や語法問題の対策を図り得点力をアップさせる。また、設問としての出題も勿論ながら、読解上も重要となることの多い「多義語」の対策や、確実な得点源になるにもかかわらず、意外と苦手とする受験生が多いイディオム(熟語)問題なども併せて扱っていく予定なので、語法問題の対策だけにとどまらず、更なる語彙力(単語・熟語)の増強も狙っていく。

～あと入試までに自分に与えられた時間はどれだけありますか?～ その逆算のなかから、今自分は何をしなければいけないのかを考えること。『絶望は愚か者の選択なり』～絶望している暇があるなら、少しずつでも前進せよ。来春の合格のために共に戦い抜き、最高の夏にしていこう。私はひたむきに打ち込む、熱いまなざしが大好きである。その熱いまなざしに勝利の女神は必ずや微笑んでくれると私は信じてやまない。

※「英文法Ⅳ」や「英文法Ⅲ」と併せて受講されることで、さらなる学習効果を期待できるので、是非セットで受講されることをお勧めします。

## 水沼の無敵の「英文解釈」＜夏期講習★死闘編＞

「自分は語彙力(単語力)がないから英文が読めない・・・」そう嘆いている君。本当に単語力だけが原因なの？ 確かにある程度の語彙力がなければ、長文を読んでいくことができないことは事実であろう。しかし英文中の全単語を知っていることなんてあり得ない。それに、もし単語力の欠如だけが原因であるならば、ひたすら単語帳を丸暗記していればよいことになるが、このことは何の解決にもならないことは、諸君が身をもって体験してきているはずである。試しに自分の志望校の過去問を、辞書を片手に解いてみればよい。恐らく大半の者はそれでも問題に解答を与えることができないはずである。

「じゃあ、どうすれば・・・？」その答えが本講座である。

本講座の目標。それは「複雑な文構造の英文でも、少々時間が掛かっても辞書さえあれば確実に『読める』状態」にすること。この時期になると多くの受験生は、「速読」という言葉に魅力を感じ、英文を読むのに時間のかかっている自分に不安感を抱く。だが間違っただけで困るのは、「速読」といい加減な「飛ばし読み」とは、全然違うものだということである。どんなに速く文全体に目を通せたとしても、内容がきちんと把握できていなければ意味がない。ゆっくり正確に読めない人間が、速く読んで内容を理解できるわけがないし、まして諸君の目指すような一定レベル以上の大学の入試英文ともなれば、正確に英文を読めずして設問に正解に辿り着けるはずもないのだ。まずはきちんと時間をかけて「精読」する訓練を積むことである。秋以降はそれまでに培った「精読力」に「スピード」を加え、読解力そして解答作成力に磨きをかけていくことになるわけであり、この夏はその時期のための「体力づくり」と考えてもらいたい。一度にあれもこれもと欲張っても結局は何も身に付かないで終わってしまうことになる。なのでとにかくこの4日間はこのテーマにとことんこだわって欲しい。

実際の入試問題では「全訳したけれど何を言っているのかがいまいち分からない」英文も少なくないので、単に訳しただけで満足してはいけいない。その文章がどういうことを言わんとしているのかを読み取る力が必要とされる(=文脈把握力)。講義では文法・構文上の解説はもちろん、多くの受験生が誤解しつづきやすいポイントを指摘、「なぜその訳になり、なぜそう考えられるのか」を曖昧にせず解説し、英語に振り回されずに『筆者は何を言おうとしているのか』を把握していく方法を習得していく。

入試に出題される骨のある英文を読み解いていく上で要求される文法・構文・語彙力など様々な項目を再確認していきつつ、更なる読解力の養成を目指していこうではないか。

### ●是非、受講して欲しい方●

- ①勘やフィーリングに頼らずに厳密に英文を読む力をつけたい方
- ②夏以降の学習に向けて、今一度正確な構文把握の方法を確認したい方
- ③春期講習やレギュラー授業で水沼の英語を受講して自分に合うと思った方
- ④水沼ファンという変わった方(たぶんいないと思うけど.....(；))

★「思い通りに勉強が進まない」「現在の学力が低い」「長文にほとんど手をつけていない」「長文を読み始めてもすぐつかえてしまう」・・・そんな悩みを持っている受験生は特に必聴!! 現在の学力に関わらず、やる気のある受験生の参加大歓迎!!

## 「英文法」中堅大レベル＜頻出&重要項目 集中攻略ゼミ＞

夏ぐらいになるとよく受験生から受ける相談の一つに、「一通り英文法は学習したはずなのに、いざ問題となるとなかなか正答できない」というものがある。そんな多くの受験生が抱える悩みを払拭し、文法&語法分野での確実な得点力を養成していくことを主眼に講義を進めていく。

本講座では、「時制」「準動詞(不定詞・分詞・動名詞)」「関係詞」「仮定法」「比較」「助動詞」などを中心に、中堅大～上位大まで幅広いレベルで出題される「文法&語法」問題における入試頻出項目の集中攻略を図る。狙われやすいポイントはどこにあり、どういう形で問われるのかを、数多くの良問を通して確認しながら、各自に欠けている知識の「理解→定着」を図っていく。あまり英文法が得意でないならば、むやみに難しいことに手を出す前に、こういった地道な学習を今一度するのが最善である。

オリジナル「英文法ハンドブック」を使用して進めていくが、毎年多くの受講生から好評を得ているので、夏以降の学習にもフル活用して頂きたい。

近年の入試問題が長文総合問題にウエートが置かれるようになってきているのは周知の事実であるが、実はその設問の多くは英文法や語法の基礎知識を問う問題である。となれば、当然「英文法&語法」分野が完成しないことには合格はおぼつかないことになる。そのためにもこの夏のうちに数多くの良問に対峙し、基礎点を確保し点の取りこぼしを防ぐことが先決である。これが夏のうちに実行されるならば、夏以降の更なる飛躍は難くないはずだ。

本講座はその性質上、「受験生であればできて当たり前、できなきゃいけない問題」の完全制覇が狙いである。なので、まずはこの講義の中で私が言及したことについて完璧にすること。私の講義では、1問の設問から関連事項へと次々に話を広げていくことになるので、それらについて何か少しでも「知らない」とか「分からない」ということがあれば、その日のうちに必ず解決させておくこと。これが合格への必須条件である。

ただかか80分2コマ×4日間の講義である。講義で触れた内容については、次の日の講義までに完璧に自分のものにしておくこと。それくらいのことのできないのであれば、来春の合格などあり得ないと思って欲しい。また、講義では単なる文法問題の対策にとどまらず、英文解釈なども視野に入れた講義を展開していくことになるので、諸君には脳髄をフル稼働させて講義に臨んで頂きたい。最大限の効果を上げるため、私も普段以上の準備と気合いで講義に臨みたいと考えている。偏差値アップのためのエッセンスを集中して諸君に叩き込んでいくこととなるから、質・量共にハードだと感じる諸君も中にはいるかもしれないが、その苦しみを乗り越えなければ合格はあり得ない。他の問題集などの学習もいいが、その前にとにかくこのテキストと講義を信頼して、この内容を完璧に消化することである。

この夏が、受験生である君自身にとって「最高の夏」になることを願っている。

※「無敵の語法」と併せて受講されることで、さらなる学習効果を期待できるので、是非セットで受講されることをお薦めします。



# 数学・理科

## 実戦！IAⅡB標準問題演習&解説（授業は80分）

毎回、IAⅡBからランダムに4題(テスト形式)の演習後に解説する(希望者はあらかじめ問題と答案用紙をもらってください)。解けそうで解けない問題もあるはずだ。本番でも十分あり得る話だ。テスト形式に慣れていくきっかけにしてもらいたい。慣れることが目的です。さらに実戦形式を体験して自分なりの今後の課題を発見しましょう！

## 実戦！数Ⅲ標準問題演習&解説（授業は80分）

毎回、数Ⅲからランダムに3題(テスト形式)の演習後に解説する(希望者はあらかじめ問題と答案用紙をもらってください)。解けそうで解けない問題もあるはずだ。本番でも十分あり得る話だ。テスト形式に慣れていくきっかけにしてもらいたい。慣れることが目的です。さらに実戦形式を体験して自分なりの今後の課題を発見しましょう！

## 夏の受験化学

化学でつまづきやすい計算問題を中心に扱います。特に理論化学を扱うので、理論化学を強化したい人はぜひ受けてみてください。

## 受験物理演習・夏

本講座では、演習形式として主に物理の力学分野を扱う。力学は受験物理の中でも最も内容の濃い頻出分野の一つであり、夏休みのうちに基礎固めをして知識の抜けを埋めることは非常に重要である。この講座で力学を重点的に再学習する機会を設けることで、夏休みの学習を有意義なものにしたい。

## 夏の受験生物

実験問題、考察問題、計算問題などの問題演習を通して知識を応用する練習をします。分野は遺伝子、進化など(その他の分野もできれば幅広くやりたい)。読解力・分析力・考察力は夏の早いうちから鍛えておきましょう！

$$e^{\pi i} + 1 = 0$$

# 国語

## 入試現代文 研究

精読力、記述力、背景知識を意識して、確かな実力を養成します。扱う文章はかなり骨のあるものばかりですが、これらの文章は、大学で行われる学問がどのようなものであるかを、教えてくれます。大学側は、現代文の試験を通して、この程度の文章を読み解ける学生に来てほしいというメッセージを発しているのです。そのメッセージをくみ取り、大学入学後も役立つ読解力を手に入れるための講座です。

## 入試古文 研究

基礎的な単語と文法には一通り触れていることを前提として、骨のある古文に立ち向かい、差のつく問題で確実に得点していく力を身につけます。難易度の高い講座ではありますが、古文を入試で武器にするために、さらなる磨きをかけたいという志の高い方の参加をお待ちしています。

## 論理的記述・小論文講座

提示された主題について判断と主張を示し、客観的な説明と例によって論証する形式の文章を、小論文といいます。この講座では、論理的記述のルール、設計の技術、例の発想法など、論述の汎用スキルを直接の添削を通して訓練していきます。



# 招待講座

## 高1・2Regular 「基礎英文法」

英語理解の土台となる「時制」「関係詞」「助動詞」の基本を徹底的に学ぶとともに、「英語嫌いを創り出す」といわれる「比較分野」を楽しくわかりやすく乗り越えられるように、情熱をもって指導していきます。また、本講座は今後の英語学習にとっての大きな指針となり、ひいては受験英語への「スプリングボード」となっていくこと請け合いです。

## 高1・2Regular 「基礎英文解釈」

近年の入試長文の傾向は、比較的易しい英文を短時間で大量に読ませるという方向に向かっています。つまり「読解スピード」が重要な要素となってきているということです。英文を早く読むには英文を前から読み進められるようにすること、つまり英語を英語の語順のまま理解していくことが必要となります。その方法として「チャンク(文節)リーディング」という方法があります。今回この講座ではその「チャンクリーディング」の‘さわり’の部分を伝授していきます。

## 高2Regular II B数学

高校数学で一番重要な分野は「2次関数」や「図形と方程式」といってもいいでしょう！これらは、他の「三角関数」や「微分・積分」などの多くの分野に欠かせないエッセンスです。高1では「2次関数」を、高2では「図形と方程式」を、学年のファーストステップとしてクリアにしておかなければなりません。本講座ではII Bの範囲を、生徒の習熟度に応じて進めて行きます。